

ご使用に際して、この説明書を必ず読んで下さい。  
また、必要な時に読めるよう本剤とともに保管して下さい。

# 東洋の防風通聖散料エキス顆粒S

(ぼうふうつうしょうさんりょう)

第2類医薬品

東洋の防風通聖散料エキス顆粒Sは漢方の古典「宣明論」をもとにした処方で、腹部に皮下脂肪が多く便秘がちな方に適し、排便や排尿、発汗を促して体内の脂肪と水分をとる作用があるため、肥満症、むくみ、高血圧の随伴症状（どうき、肩こり、のぼせ）、便秘に効果があります。

## ⚠ 使用上の注意



### してはいけないこと

- (守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなる)  
1. 本剤を服用している間は、次の医薬品を服用しないこと 他の瀉下薬（下剤）  
2. 授乳中の人は本剤を服用しないが、本剤を服用する場合は授乳を避けること



### 相談すること

1. 次の人は服用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること  
(1) 医師の治療を受けている人。 (6) 高齢者。  
(2) 妊婦又は妊娠していると思われる人。 (7) 今までに薬などにより発疹・発赤、かゆみ  
(3) 体の虚弱な人（体力の衰えている人、体 等を起こしたことがある人。  
の弱い人）。 (8) 次の症状のある人。：むくみ、排尿困難  
(4) 胃腸が弱く下痢しやすい人。 (9) 次の診断を受けた人。：高血圧、心臓病、  
(5) 発汗傾向の著しい人。 腎臓病、甲状腺機能障害
2. 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

関係部位	症 状	関係部位	症 状
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ	消 化 器	胃部不快感、(はげしい)腹痛を伴う下痢、腹痛

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けること。

症状の名称	症 状
間 質 性 肺 炎	階段を上ったり、少し無理をしたりすると息切れがする・息苦しくなる、空せき、発熱等がみられ、これらが急にあらわれたり、持続したりする。
偽アルドステロン症、 ミオパチー	手足のだるさ、しびれ、つっぱり感やこわばりに加えて、脱力感、筋肉痛があらわれ、徐々に強くなる。
肝 機 能 障 害	発熱、かゆみ、発疹、黄疸(皮膚や白目が黄色くなる)、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。
腸胃腹静脈硬化症	長期服用により、腹痛、下痢、便秘、腹部膨満等が繰り返しあらわれる。

3. 服用後、次の症状があらわれることがあるので、このような症状の持続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること 下痢  
4. 1か月位（便秘に服用する場合には1週間位）服用しても症状がよくならない場合は服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること  
5. 長期連用する場合には、医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

### 【効能・効果】

腹部に皮下脂肪が多く、便秘がちなもの次の諸症：高血圧の随伴症状（どうき、肩こり、のぼせ）、肥満症、むくみ、便秘。

### 【用法・用量】

下記の量を食前又は食間に水又は白湯にて服用して下さい。なお、添付のサジはすり切り約1.0gです。

年 齢	1回量	1日服用回数
大人(15才以上)	2.0gまたは1包	3回
15才未満	服用しないこと	

### 【成分・分量】 [本品1日量6.0g又は3包(1包2.0g)]

日本薬局方 ト ウ キ	0.60 g	日本薬局方 シ ャ ク ヤ ク	0.60 g
日本薬局方 セ レ ン キ ユ	0.60 g	日本薬局方 サ ン シ	0.60 g
日本薬局方 シ ン キ ョ	0.60 g	日本薬局方 ハ ッ カ	0.60 g
日本薬局方 シ ョ ウ キ ョ	0.60 g	日本薬局方 ケ イ ガ イ	0.60 g
日本薬局方 ポ ウ フ	0.60 g	日本薬局方 メ オ	0.60 g
日本薬局方 バ イ ク	0.75 g	別紙規格 ボ ウ シ ョ	0.75 g
日本薬局方 ヒ ャ ク ジ ョ	1.00 g	日本薬局方 キ キ ョ	1.00 g
日本薬局方 オ ウ コ	1.00 g	日本薬局方 カ ン ソ	1.00 g
日本薬局方 セ ッ コ	1.00 g	日本薬局方 カ ツ セ キ	1.50 g
		日本薬局方	3.00 g

より製した水製乾燥エキス  
添加物として、乳糖、メタケイ酸アルミン酸Mg、部分アルファ化デンプン、ステアリン酸Mgを含有する。

## 保管及び取扱い上の注意

- (1) 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に密栓して保管すること。  
(2) 小児の手の届かない所に保管すること。  
(3) 他の容器に入れ替えないこと。  
(4) 本剤は生薬を原料としたエキスを用いた製品ですから、製品により色調や味が多少異なることがあります。効果には変わりありません。



### 【問い合わせ先】

本製品についてのお問合せは、お買い求めのお店、または下記にお願い申し上げます。

東洋漢方製薬株式会社「お客様相談室」

電話 0120-00-1040

受付時間 9:00~17:00(土、日、祝日を除く)

副作用被害救済制度の問合せ先  
(独) 医薬品医療機器総合機構  
電話 0120-149-931

製造販売元

**東洋漢方製薬株式会社**

〒584-0022 大阪府富田林市中野町東2丁目1番16号